

高松学習館運営協議会（令和4年11月）会議録概要

開催日時 令和4年11月16日（水曜日）午前9時30分～午前11時10分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

服部裕美（高松児童館）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

委任状 結城まり子（学習館利用団体）

欠席 3名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ 皆さん、おはようございます。行事が増えてきて忙しくなってきた。コロナ第8波に入り感染者数が増えている。体調には気をつけていただきたい。

2. 報告事項

・事務局より下記について報告があった。

・ファミリーコンサート（11/12実施）について

参加者アンケート集計結果とプログラムを配布した。概ね好評だった。第1部の子ども向けは40人参加、第2部の大人向けは26人参加があった。第1部は親子で初めて学習館事業に参加した方が多かった。

当日運営スタッフにあたった委員より感想があった。

・第1部はお子さんがすごく楽しんでいる様子が見受けられた。第2部は地域でプロの方の歌や演奏を聴けるのは貴重だと感じた。

・第1部で赤ちゃんと両親と一緒に楽しんでいた。出演者が上手に楽しませてくれた。

・3年目の出演で第1部のレベルが上がって子ども達が集中して聴いていた。第2部はプロの演奏が聴けた。コロナ禍で貴重な機会。

・たかまつクリスマスお楽しみ会（12月）について

高松図書館、高松児童館、高松学習館共催の恒例事業で、図書館のおはなし会と学習館の映画会を実施する。上映作品「ボスベイビー」は児童館の子ども達の投票で決定した。

・高松寿教室見学会（11/9実施）について

寿教室会員30人が参加し、けやき座で舞台を鑑賞した。歌と踊りがとても楽しかった。以前は電車を使って遠方まで施設見学会に行っていた

が、近年は高齢化により地元で観劇できることが有難い。1月は新年のつどいを短縮版でお昼前に終了。コロナ禍で会員数も行事への参加者数も減少している。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業：新たに講師が決定した事業について説明があった。終了した事業がわかるような表にすると見やすいという意見があった。
- ・ 東京学芸大学との連携事業について
1/8(日)に実施する事業について、学生さんとの第2回うち合わせ内容と具体的なプログラムについて説明があった。
「冬のおもいでたかまつり～お正月を楽しんじゃ王～」で「書初め」と「昔あそび」（お手玉づくり、福笑い、だるま落とし）を子ども達が2グループに分かれて交替で体験してもらう。
 - ・ 「書初め」の道具セットは講師が人数分手配してくれている。会場は第1教室で机と椅子を使用する。新聞紙は図書館に提供依頼している。学芸大に書道科があるので当日お手伝い可能な学生さんを確認してもらっている。講師の方でお手本を用意してもらい、子ども1人につき5枚程度は書いてもらうようにする。
講座終了後に筆を洗うかどうか等、あとかたづけについて講師の方に確認するようにする。
 - ・ 「立川かるた」、「立川すごろく」は展示して参加者に見てもらう。
 - ・ 「昔あそび」の「お手玉」は学習館利用サークルである高松パッチワーク友の会の活動日に委員がプチ体験をさせてもらった。子どものレベルによって下準備をしてもらえることになった。子どもは10分位で一つ作ってあそび方を教えてもらう。あそび方を指導できる人がいた方がいいのではないかという意見があった。
 - ・ 「福笑い」はもぞう紙に大きいパーツを置いて楽しむ。学生さんの方で製作する。
 - ・ 「だるま落とし」はダンボールを利用して学生さんの方で製作する。
 - ・ 「だるま落とし」の運搬、書道セットの運搬について質問があった。事務局が車で運搬可能なので今後学生さんや講師と調整することになった。
 - ・ 学生さんは次回12月地運協に出席予定。
 - ・ 当日応援可能な委員の確認をした。梅田会長、難波副会長、吉田委員、栗原委員の予定。
- ・ 来年度事業の企画案について
次回会議でアイデアや企画案を挙げていくことになった。
学芸大とのコラボ講座について来年度は今のところ未定。
高松学習館でアール・ブリュット展示は大きな事業となっている。

他の学習館でも防災講座を実施しているので、防災関連事業があってもいいのではないか。市全体から見ても、高松町は防災意識を持った方がいい地域。社会福祉協議会主催で親子で参加する「暗闇体験」講座を実施した。高松学習館運営協議会で以前に社会福祉協議会と防災課職員の協力でママ向けの防災講座を実施したことがある。防災にも火災、水害、震災など、切り口はいろいろある。社会福祉協議会と協力して、防災関連団体にも相談するなど検討していくことになった。生涯審でも防災についての話があった。HUG（避難所運営ゲーム）も楽しそう。赤ちゃんを連れてきた、犬を連れてきた等、次々と課題が与えられる。他の学習館でも実績がたくさんあるので今後実施に向けて進めていく。

(3) その他

- ・ 地域学習館運営協議会交流会：11月25日（金）午後6時 西砂学習館にて。交流会出席者について再確認した。梅田会長、難波副会長、吉田委員、橋本委員が出席予定。当日のテーマは「学社一体」について、海野生涯学習係長による講義とグループに分かれての意見交換会及び発表、各館の活動実績の紹介をパネルで展示することを予定している。
- ・ 次回の開催日：12月21日（水）午前9時30分～11時
- ・ 今後の開催予定（第4水曜午前）：1/25・2/22・3/22
*祝日と年末は第3水曜日

4. 地域課題共有

- ・ 体調不良となり身体に負担がかからないように活動に参加している。
- ・ 児童館：ハロウィンイベントがとても楽しかった。小さな子どもが仮装してとても可愛かった。11/23 児童館合同ドッチボールが柴崎体育館で実施される。3つの小学校から30人の子ども達が参加する。12月はクリスマス会に向けて子ども実行委員会で企画。1/8 お正月あそびはお手玉の予定。
- ・ 社会福祉協議会：高松町子ども会連合会主催のハロウィンパーティは仮装してくる親子が集まりとても楽しかった。11/29～包括支援センターの地域スペースでお困りごと相談会が開催される。学生達が御用聞きとして地域の中でちょっとした困りごとを解決する。12月は学習支援に取り組む。
- ・ 都市社連協第2ブロック研修会で他市（国立市、東大和市、国分寺市、昭島市）と情報や課題を共有する機会があった。リモート中心の会議の良さや対面の良さについて各市の話や多世代による施設活用の話、市民大学の話が興味深かった。
- ・ 3年ぶりに開催の楽市は15,000人位の方が来場した。入口と出口が一箇所です飲食禁止のため来場者は品物を買って帰る形。10/30に栄町町民運動会を実施した。
- ・ 10月はほとんど出張していた。東北ブロック6県社会研究大会がいわきで実施された。福島県内の方は対面。分科会はYouTubeで発信。大学の授業もあった。全国の公民館大会もあった。広島で全国大会、交流会など続いた。関東甲信越ブロック大会があったが、立川からは参加者がなかった

のが残念。今のご時世でどこにも行けないから児童館を水族館にしようというアイデアで、近隣の保育園・幼稚園児が折り紙で作った海の生き物を展示した。コロナだから自分達もクローズするのではなく、ちょっとしたひねりのアクションをすることで子ども達の興味を惹きつけ、見直すことができる。ちょっとしたアイデアで非日常を日常に取り入れることができる。防災、環境、SDGsに子どもが興味を持つことができるように小学校でもゲーム感覚で参加できるよう工夫している。ろうそく1本もどのくらいの時間もつか、町探検しながら防災マップを知るなど。社会教育の学習を身近にしていくことが大切。学習、学びではなく、遊ぼうと言えば人は集まる。コーヒーカップを持って雑談するなど、仕掛けづくりがきっかけを生む。歴史的に地域に合った社会教育をしていく。主体は行政ではなく地域住民。自主的にできることからやっていく。学習館が運用されていけばいいと思う。他の地域での研究会や研修会はどんどん参加して交流することが必要だと思う。理論と実践。人づくりが町づくりの基本。消極的な姿勢でなく、行政も随行で参加すれば一緒に学べる。

以上